

WILLER
代表取締役

村瀬茂高

1963年生まれ。大学在学中に旅行代理事業をスタートし'94年西日本ツアーズ(現WILLER TRAVEL)設立。その後、高速バス事業に参入。WILLER TRAINS(京都丹後鉄道)の運行も手がける。

EVERY DAY IS THE DAY
クリエイティブディレクター

佐藤夏生

1973年生まれ。'96年博報堂入社。クリエイティブディレクターとして企業ブランディングに従事。2017年にEVERY DAY IS THE DAY設立。

相
師
相
愛遠
距
離
恋
愛

Text: 上阪徹 Photograph: 太田隆生

師匠か、恩師か、目をかける若手か、
はたまた一生のライバルか。
第27回は、創造力豊かなおふたり。

世の中に新しいサービスを創りたい。世の中、こんなふうにならないといけないんじゃないか……。いつもそんなことばかり考えていました。ただ、もやもやして、はっきりしていないし、まじめに聞いてくれる人なんていないんです。でも、夏生さんは違ったんです。

理由なんてない。魚釣りに誰と行こうか、という時、この人と行ったら面白い釣りができる、とワクワクできる人を誘うじゃないですか。夏生さんは、一緒に船に乗ったら、すごく面白いことができるんじゃないかと思ったんです。

月3回くらい、話を聞いてもらうようになって、いろんなことがわかりました。僕たちがやろうとしている産業には、明確な名前がなかったこととか(笑)。やりたいこと、やるべきこと、やるべきでないことがわかって、とてもすっきりして、一緒に次のビジョンを作って発表しました。

可能性創造が好きなんです。僕も夏生さんも。可能性を妄想し続けたい。

最初、とあるセミナーでお会いして。バス会社の名刺を渡されて、「僕たちバス会社じゃないんです」と言われました(笑)。この人かなりクレイジーだなと。それから後日、お会いをして、自身のビジネスのこと、今後のビジョンなど、たっぷり話を聞いて。

僕に期待されているのは、可能性創造。「これお願いします」といったタスクや、オリエンそのものが村瀬さんにはないんですよ。今までいろんな経営者にお会いしてきましたが、まだ見ぬ未来を創ろうとしている人たちは、ほぼ言っていることがよくわからない(笑)。それでまわりも本人もかなり困っていたりする。村瀬さんもそう。だから、力になれる、と思いました(笑)。村瀬さんは、アジェンダのない10時間のミーティングを喜んでしてくれる、貴重な経営者。まさにビジネス冒険家ですね。

しかも、村瀬さんは変革の先端、現場に常にいる。僕はそこに、物資や食料を切らさないよう送ってる感じです。

Mr.
MURASEMr.
SATO